

専門学校 久留米自動車工科大学校 自己点検評価

(令和3年度評価)

教育理念・教育目標・育成人材像等

1 学校の教育目標

- ① 自動車整備士として専門的知識と技能を有する人材を育成すること
- ② 社会人として、社会性を備えた人材を育成すること
- ③ 社会貢献できる自動車整備士を育成すること

以上、「人間味豊かな産業人の育成」が本校の役割であり目標である

2 令和3年度に定めた重点的な取り組み

当校は「教育の質」向上のため、令和3年度は以下の項目に取り組み、教育運営を行った。

教育関係	座学（学科教育）と実習を連携させた新たな授業方法を継続・推進した
	タブレット端末を利用した座学・実習を実行することで、視覚印象授業手法を継続させた
	一級自動車工学科においてはアクティブラーニングを継続した
	今後の電子化に向けて、プログラミング授業を取入れた
	対面授業が基本であるが、感染症対策として、座学・実習ともにオンライン授業を取入れ、実施方法を確認した
	産学連携事業として、企業と一級・車体の学生によるレストアプロジェクトを実施した
	企業と連携し、新たに企業による企業研究授業を取り入れた
福利厚生	タイヤチェンジャー、ホイールバルンサーの入替を行い、学生の実習効率の向上を図った
学生募集	ホームページの一部改修とトップページ改修を行い、学生等にアピールした
	学校案内の早期完成、早期配布をタイムリーに実施した
	満足度が高い少人数、リクエスト型のオープンキャンパスを継続した。（時間は90分、参加人数制限、感染に十分配慮した形式で開催した）
	SNSを活用した広報活動（学校認知・学生募集）をブラッシュアップしながら実施した

3 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	教育理念・目標を具体的に定めているか（3つのポリシーが反映されているか）	④	3	2	1
②	教育理念・目標は各媒体に明示されているか	④	3	2	1
③	教育理念・目標に基づき、適切な授業計画を作成し、同じ方向性を持って授業遂行できているか	④	3	2	1
④	学校を取り巻く社会環境変化に対応し、必要に応じて教育手法や授業計画を柔軟に見直しているか	④	3	2	1

■課題

特になし

(2) 事業計画に沿った学校運営

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	単年度事業計画と予算は、法人の正当な手続きに基づき作成・決定されているか	④	3	2	1
②	毎年の個別事業の実施成果を評価すると共に、評価に対応した改善計画を作成しているか	④	3	2	1
③	事業計画及び事業報告書並びに予算・決算等を情報公開しているか	④	3	2	1

■課題

特になし

(3) 教育理念・目標に基づいた学校全体の教育活動・個別の教育活動

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	学生受入れの方針の設定、受入れ方法の設定、適切な受入数の確保ができているか	④	3	2	1
②	教育理念・目標に基づいた教育を展開するためのカリキュラムポリシーの設定が成されているか	④	3	2	1
③	カリキュラムポリシーは教員に共有化されているか	④	3	2	1

④	シラバス（授業プラン）は教育理念を反映されたものであるか	④	3	2	1
⑤	シラバスの内容は教員に共有化されているか	④	3	2	1
⑥	職業教育としての専門性確保のため、産業界のニーズを反映したカリキュラムとなっているか	④	3	2	1
⑦	個々の授業に対する学生の満足度を高めるために、授業内容及び授業方法の改善に取り組んでいるか	④	3	2	1

■課題

特になし

（４）学修成果の実現向上

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	履修認定基準は公正であるか	④	3	2	1
②	各学科卒業生及び修了生の資格試験の合格率は向上しているか	④	3	2	1
③	各学科卒業生の就職率は向上しているか	④	3	2	1
④	履修状況（出席状況・期末試験の結果）に応じた学修支援は十分か	④	3	2	1
⑤	各学科の課程修了に応じた進級率は向上しているか	④	3	2	1
⑥	退学率は減少しているか、また退学に至るまでの対応は適切であるか	4	③	2	1
⑦	資格試験合格のための対策授業を実施しているか、それは適切か	④	3	2	1

■課題

課題 1（項目⑥） 前年度（9名）を上回る退学者数（14名）であった。

課題 1 の改善案 退学者の多くは1年生（11名/14名 約80%）で、半数が2～3月に集中している。時期的に成績不振などにより、進級が見込めない学生が進路を変更している。丁寧な相談対応や、遅刻等が見られる学生への積極的なアプローチ等の早期対応に努めているところではあるが、今後はさらに学生一人ひとりに寄り添った対応に心掛けていく。また、学生の中には集団生活に馴染めない者もおり、いかに社会性を習得させていくかは難しい課題であるが、引き続き努力していきたい。

(5) 学生の教育及び生活における課題解決に対する支援

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	学生の教育課題を把握し、課題への対応を検討・実施しているか	④	3	2	1
②	学生の精神的な課題を早期に発見し、専門的で個別指導を促すことを実行できているか	4	③	2	1
③	就学の経済問題の相談に対し、国・県の支援制度を活用しているか	④	3	2	1
④	就学の経済問題の相談に対し、校納金の延納、分納、奨学金制度の情報提供を行っているか	④	3	2	1

■課題

課題1 (項目②) 臨床心理士による定期的な学内カウンセリングを継続しているが、利用者は少なかった。

課題1の改善策 日頃から学習相談等、様々な相談に対応しているところである。そのような中、学内カウンセリングを経て、専門機関へ繋ぐ等、タイムリーに対処できたケースもあった。今後、学生が学内カウンセリングを含め、さらに相談し易い環境づくりに努力していきたい。

(6) 教育環境

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	自動車の整備技術の進化に対応し、実習教材を整備・充実させているか	4	③	2	1
②	学生の在籍状況に応じた学習施設の維持・補修を行い、必要に応じて教育機能の充実を図っているか	④	3	2	1
③	学生の福利厚生施設の検討を行い、必要に応じて整備できているか	4	③	2	1

■課題

課題1 (項目①②③) 建物・設備等については、適宜必要な改修、入替等を実施しているが、老朽化しているものもあり、計画的な整備が必要である。

課題1の改善策 昨年度、第3次中期計画に合わせた6カ年の建物等整備計画を策定した。安全性・快適性を確保する為、優先度の高いものから順に、計画的に整備していきたい。また学生の福利厚生施設については、具体的に検討していきたい。

(7) 学生募集の充実とマネジメント

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	入学生及び在籍学生の確保に努めたか	④	3	2	1
②	学生募集を強化し、全学科合わせて目標の入学者を確保できているか	④	3	2	1
③	入学生確保のためのオープンキャンパス開催、WEB広告充実など多様な学生募集の展開を実施しているか	④	3	2	1
④	入学者確保による収入の増加と経常的支出を計画的に削減することで収支安定を図っているか	④	3	2	1
⑤	経営収支の改善による持続可能な財政は確立されているか	4	③	2	1
⑥	教職員の資質・能力向上に向けた研修を実施したか	④	3	2	1

■課題

課題1 (項目⑤) 学校法人全体での財政基盤は安定しているが、本校単体では改善傾向にあるものの不安定である。

課題1の改善策 財政基盤を安定させるためには、学生数を安定的に確保することが不可欠である。本校の特長(強み)である就職内定率100%を10年以上継続していること、優れた教師陣、恵まれた教育環境であること等を、HPやSNS、進路情報媒体等を活用して、高校生や保護者、高校教師、再チャレンジを検討する高校既卒者等に発信する等、安定的に学生確保に繋がられるよう、全職員一体となって取り組む。

(8) ガバナンスとコンプライアンスの確保

評価項目		適切…4、 ほぼ適切…3、 やや不適切…2、 不適切…1			
①	学校の組織的運営のため、職員会議をはじめとする各種会議の適正な開催と組織的な統制は確保されているか	④	3	2	1
②	法人理事会・評議委員会の意思決定及び法人監査による監査指摘への対応に基づく円滑な学校運営はなされているか	④	3	2	1

■課題

特になし